

# いっぱい泳いでおおきなあれ

## 保育所園児が稚アユを放流



「おおきなあれ〜！」(カワコふれあい公園)

川とのふれあいを大切に

5月9日、10日、町内保育所の園児が日野川に稚アユを放流しました。

これは、子どもたちに川や魚とふれあうことで命の大切さ、自然のかけがえのなさを学んでもらおうと町水産振興連合会(生田正明会長)が計画したもの。

9日は黒坂カワコふれあい公園で黒坂保育所の園児が、10日は野田河川敷でひのっこ保育所の園児が放流しました。

放流場所に集まった園児たちは、トラックで届いたたくさんのおおきな稚アユをバケツに分けると、「かわいい!」「元気に跳ねてるよ」と大

喜び。

そして「おおきなあれ」と声をかけながら日野川へ一斉に放流。園児たちは元気に泳ぐ稚アユを目で追ったりしながら楽しいひとときを過ごしました。



バケツからそっと優しく放流

# 魚占

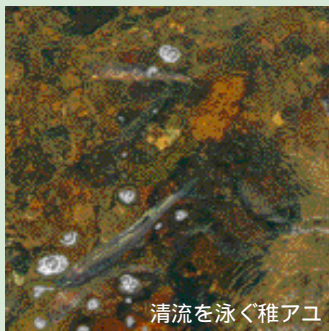


## あゆ【鮎・香魚・年魚】

アユ科の硬骨魚。体長約 30cm。背部はオリーブ色。稚魚期を海で過ごし、初春に川をさかのぼり、急流にすむ。珪藻<sup>けいそう</sup>を食べ、身には独特の香気があり、美味。

アユ豆知識●アユの語源は、古語の「あゆる（落ちる、川を下る）」から来たものとされています。川で成長したアユが産卵をひかえて川を下る様子からつけられた呼び名です。●スイカのような香りがあることから「香魚」、寿命が約1年であることから「年魚」とも呼ばれます。●塩焼きなどさまざまな料理にされ、内蔵は「うるか」という塩辛にします。●えさ場になる岩のまわりになわばりをつくり、そこに入ってくる別のアユを追いはらう習性があります。これを利用して、おとりアユをつかった友釣りがおこなわれています。

園児たちが次にアユに出会うのは、7月に各保育所でおこなわれる予定の「アユつかみ」。園児たちは、大きく育ったアユたちとふれあうのを楽しみに待っています。



清流を泳ぐ稚アユ

6月からのアユ漁解禁に向け、町水産振興連合会が放流する稚アユは、今回の放流を含めておよそ50万匹。4月下旬から数回に分けて町内の日野川全域で放流されています。



「みんな元気に泳いでいったよ！」（野田河川敷）